

JFA 第 45 回全日本 U-12 サッカー選手権大会 高知県大会

実 施 要 項

【趣 旨】

高知県の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねるなかで自ら成長していくことのできるようサポートする。

子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。

- 1 名 称 JFA 第 45 回全日本 U-12 サッカー選手権大会 高知県大会
- 2 主 催 公益財団法人 日本サッカー協会
公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団
読売新聞社
一般社団法人 高知県サッカー協会
- 3 主 管 一般社団法人高知県サッカー協会 第 4 種委員会
- 4 後 援 日本テレビ放送網 / 報知新聞社 / RKC 高知放送
- 5 特別協賛 YKK
- 6 協 賛 花王 / 日清オイリオグループ / ゼビオ / 日本マクドナルド
- 7 日程・会場

10 月 31 日 (日)	1・2 回戦	野市ふれあい広場サッカー場
11 月 7 日 (日)	3・4 回戦	野市ふれあい広場サッカー場
11 月 14 日 (日)	準々決勝・準決勝	野市ふれあい広場サッカー場
11 月 21 日 (日)	決勝・第 3 位決定戦	春野総合運動公園球技場
- 8 参加資格
 - ①「参加チーム」は、大会実施年度に日本サッカー協会（以下「本協会」）第 4 種に加盟登録したチーム（以下「加盟チーム」）であること（準加盟チームを含む）。
 - ②上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
 - ③「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。
 - ④高知県大会エントリー締切り日から全国大会に至るまでに、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。
 - ⑤女子選手については、（クラブ申請を承認された）同一クラブ内の他の「加盟チーム」から選手を参加させることも可能とする。
 - ⑥「参加チーム」は、U-12 リーグに参加していること。ただし、新型コロナウイルス感染症対応の影響により、所属する U-12 リーグが開催されない場合、本項を適用外とする。
 - ⑦引率指導者は、「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、ベンチ入りするチーム役員の内 1 名以上が本協会公認指導者ライセンス（D 級コーチライセンス以上）を有することが望ましい。
※第 46 回大会以降は、ベンチ入りするチーム役員の内 1 名以上が本協会公認指導者ライセンス（D 級コーチライセンス以上）を有することとする。
 - ⑧「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
- 9 参加チーム数
本大会には、同一チームから複数チームが参加することができる。
- 10 大会形式
トーナメント方式とする。

11 競技規則

(公財) 日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。

12 競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

(1) 競技のフィールド

フィールドの表面は、天然芝が望ましい。

サイズは以下のとおりとする。

フィールドの大きさ : 長さ(タッチライン) 68m×幅(ゴールライン) 50m以内

ペナルティエリア : 12m

ペナルティーマーク : 8m

ペナルティアークの半径 : 7m

ゴールエリア : 4m

センターサークルの半径 : 7m

(2) ボール

4号球とする。参加チームは、準決勝まで試合球を2個持参のこと。

(3) 競技者の数

競技者の数は8名とする。ただし、競技者の最低人数は6名(内1名はゴールキーパー)とし、それ以下は認めない。

競技者が6名に満たない場合は試合を行わず、得点を0対3として敗戦したものとみなす。

(4) 交代要員の数

ベンチに入ることができる人数は、エントリーされた選手であれば制限なしとし、また、交代要員の数は、エントリーされた選手であれば制限なしとする。

(5) 交代を行うことができる数

制限なし(交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。)

(6) ベンチ入りするチーム役員の数

2名以上3名以下とする。なお、1名以上が本協会公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有することが望ましい。

(7) 審判員

1人制審判(1人の主審と補助審判)を採用する。

参加チームは1名の公認審判員を帯同すること。

自チームで審判を確保できない場合は、他チームに依頼し審判を確保すること。

(8) テクニカルエリア

設置する。(その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。)

(9) 競技者の用具・ユニフォーム

①JFAのユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

②本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。

③正・副の2色については明確に異なる色とする。

④審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

⑤前項の場合、審判員は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

⑥ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること(FP・GK用共)。参加申込書に登録されたものを原則とする。

⑦シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。

⑧選手番号については、参加選手ごとに参加申込書に登録されたものを使用する。

⑨ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じものに限る。

⑩試合中のビブスの着用について

対戦チームのユニホームカラーなど、または、不測の場合は、ビブスの着用を大会本部にて認めるものとする。

(10) 装身具

一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。ただし、スポーツメガネの着用については別途対応とする。

(11) 試合時間

- ①試合時間は40分（前後半各20分）とする。
- ②ハーフタイムのインターバルは原則5分間
- ③アディショナルタイムの表示：最終日のみ行う。

(12) 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合

- ①決勝戦以外は、延長戦は行わずペナルティーキック方式により勝利チームを決定する。
- ②決勝戦は、10分間（前後半各5分）の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティーキック方式により勝利チームを決定する。
- ③延長戦に入る前のインターバル：原則5分間
- ④ペナルティーキック方式に入る前のインターバル：原則1分間

(13) 交代の手続き

- ①交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。ただし、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外にでなければならない。
 - ②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 - ③交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
 - ④交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。
 - ⑤ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- ※ 交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

(14) キーパーの交代について

- ①キーパーをフィールドの選手と入れ替えする場合
アウトオブプレー時に入替えることができる。その際、キーパーは、フィールドプレーヤーのゲームシャツ（同一番号）を着用する。フィールドプレーヤーは、異色のゲームシャツ（同一番号）を着用する。この際、キーパーの入れ替えにより空費された時間は、前、後半それぞれ競技時間を追加する。（アディショナルタイム）
- ②控えのキーパーがフィールドの選手として交代する場合
フィールドプレーヤーのゲームシャツ（同一番号）を着用する。
- ③PK方式でのゴールキーパーの交代について
試合終了の笛が鳴った時点で、フィールド内の選手間での交代は自由。ただし、交代の方法は①と同様とする。

(15) 負傷者の対応

主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。

13 指導者が選手を引率する際の留意事項

- ①選手個々の権利、尊厳及び価値を尊重し、平等に取り扱うこと。
- ②選手の福利及び安全を最優先で扱うこと。
- ③身体に対する暴力行為を行わないこと
- ④不適切な言葉を使用しないこと
- ⑤身体に対する暴力行為や不適切な言葉の使用を放置しないこと。

14 懲罰

- ①警告・退場：通常の競技規則に準ずる。
- ②退場：競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。
主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- ③退席処分：ベンチ（監督・コーチ・役員他）が判定に対して異議を唱えたり、選手に対し罵声などのネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に、再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングは不可とする。
- ④大会期間中、警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- ⑤本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。悪質な場合は、それ以降の処置について、第4種委員会役員をもって規律委員会を構成し処分を検討する。
- ⑥高知県大会と全国決勝大会は懲罰規定上の同一競技会とみなし、県大会終了時点で退場・退席による未消化の出場停止処分は、全国決勝大会において順次消化する。

15 申し込み

- ①参加チームは、今回送付のエントリー表（参加申込書）を使用し、メールにて申し込むこと
- ②参加選手数は、原則、1チーム16名までとするが、制限なし。

- 16 参加費 参加費 1チーム 7,000円
開会式(10月10日)に納入のこと。
- 17 エントリー締切り日 2021年9月22日(水)までに必着のこと。
- 18 開会式 2021年10月10日(日) 10時30分から
高知県立高知青少年の家(2F大集会室、土足禁止)
高知県吾川郡いの町天王北1-14
- 19 開会式の出席について
①本大会に参加するチームの代表者の方は1名出席してください。
- 20 組合せ抽選 開会式にて行う。
- 21 閉会式 決勝・第3位決定戦終了後に行う。
- 22 表彰
優勝チーム(表彰状・優勝トロフィー)
準優勝チーム(表彰状・第2位トロフィー)
第3位チーム(表彰状・第3位トロフィー)
第4位チーム(表彰状・努力賞トロフィー)を授与する。
- 23 全国決勝大会の参加資格
(1)JFA第45回全日本U-12サッカー選手権大会 決勝大会への「参加チーム」及び「参加選手」
①高知県大会で優勝したチーム・選手とする。当該チームの高知県大会での登録数が20名に満たない場合は、「加盟チーム」内選手から20名を上限として補充することができる。
最終登録はチームあたり22名(役員6名・選手16名)を最大とする。
②高知県大会から全国大会に至るまでに、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。
③引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、ベンチ入りするチーム役員の内1名以上が本協会公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有すること。
※第46回大会以降、ベンチ入りする指導者(監督・コーチ等)全員が本協会公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有することとする。
(2)日程・会場
開催日:2021年12月26日(土)~12月29日(火)
会場:1次ラウンド・ラウンド16 鹿児島ふれあいスポーツランド(鹿児島県鹿児島市)
鹿児島県立サッカー・ラグビー場(鹿児島県鹿児島市)
準々決勝 鹿児島県立鴨池補助競技場(鹿児島県鹿児島市)
準決勝・決勝 白波スタジアム(鹿児島県鹿児島市)
組合せ:2021年11月30日(火)に発表する。
代表者会議:2021年12月25日(金)川商ホール(鹿児島市民文化ホール・鹿児島県鹿児島市)
開会式:2021年12月25日(金)川商ホール(鹿児島市民文化ホール・鹿児島県鹿児島市)
- 24 傷害保険
「参加チーム」の選手・指導者は、チームの責任において傷害保険に加入すること。
- 25 医療関係
高知県サッカー協会は、試合会場での応急処置のみを行います。緊急を要する場合は、救急車の手配をするとともに、現場での可能な範囲で対応いたします。
- 26 注意事項
・空き缶等のゴミは、全てチームの責任において必ず持ち帰ること。
・野市ふれあい広場は、太鼓等の鳴り物の応援が禁止されていますのでご注意ください。
・野市ふれあい広場の路上(公道)に、絶対、駐車しないで下さい。
- 27 その他
(1)荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合には、第4種委員会役員において協議の上対処する。
中断・中止・延期・打ち切りとすることがあることを留意のこと。
(2)大会要項に規定されていない事項については、第4種委員会において協議のうえ、決定する。